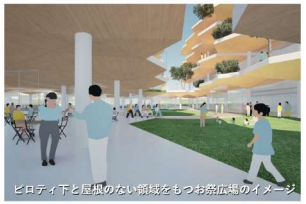
# 「小さな杜の群れ」という風景を纏う丘－杜の都の風景が文化をつなぐ－

私たちは、杜の都仙台の原風景を継承し、青葉山エリアの文化をつなぐことが重要だと考えました。屋上緑化された「小さな杜の群れ」という風景を纏う丘のような音楽ホールとメモリアル施設の複合建築が私たちの提案です。いつも敷地全体が人々の元気な活動に満ち、この場に参加する人たちが主役だと感じられるみんなに開かれた場を皆さんと一緒につくりたいと願っています。

仲の瀬橋上からのイメージ（建物と周辺環境との調和の考え方を示すイメージ）

南西俯瞰イメージ

ロータリー前のイメージ


ピロティ下と屋根のない領域をもつお祭広場のイメージ

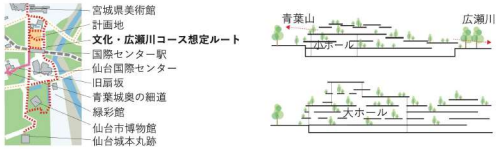
1階から地下1階の交流広場を見下ろす

災害文化・創造支援・発信エリアのイメージ

小ホール（可動壁を開放した状態）のイメージ

## 1 文化施設・広瀬川を巡る「フットパスの新たな拠点」

澱橋通線と桜の小道間を緩やかな勾配の斜面でつなぎ、様々な方向からアクセスできる広場とします。城下町の文化・自然に触れるフットパスの新たな起点とします。

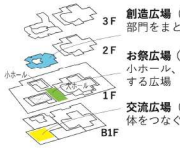



## 2 屋上緑化の「立体的な散策路」

外構と屋上テラスに仙台市の潜在自然植生で緑化した、パノラマな視点場をもつ立体的な散策路で建築を包み、フライタワーの圧迫感を軽減します。

## 3 災害文化と芸術活動が融合したアクティビティを誘発する「3つの広場」

交流ロビーを「交流広場」、ホールと1階ロビーに囲まれた「お祭広場」、各運営部門をまとめた「創造広場」が、この場独自のアクティビティを誘発します。



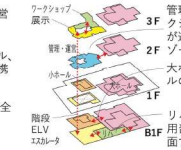

**創造広場**（2F）：各運営部門をまとめたエリア

**お祭広場**（1F）：大ホール、小ホール、ロビーと連携する広場

**交流広場**（B1F）：施設全体をつなぐ交流ロビー

## 4 様々な現象に開かれた場が生み出す〈アクティビティの連鎖〉

各エリアのまとまりと、視認性・回遊性の高い空間により、多様なアクティビティの連鎖が生まれるような場とします。



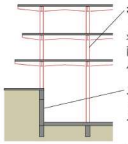

管理・運営、ワークショップ、展示が連携した創造ゾーン

大ホール、小ホールの連携

リハーサル室：共用部と大ホールに面する

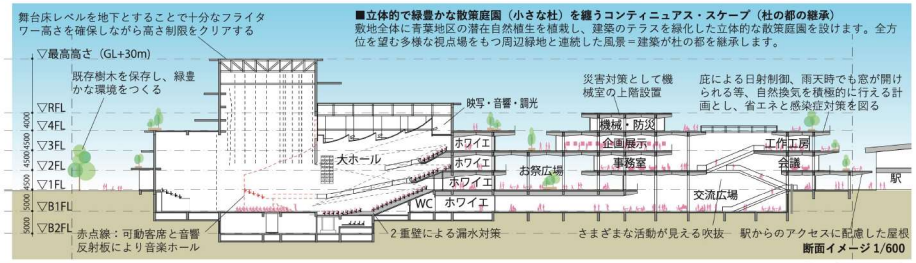
## 5 自然界の生成原理を参照したポリゴンコラム

地階の「スクエアペース」と呼ぶグリッド状の架構から立ち上がる「ポリゴンコラム」と呼ぶ樹木のような架構の集合体による平面計画の自由度が高い計画です。



**ポリゴンコラムのメリット**：ポリゴンコラム頂部形状変更により、諸室の規模、配列など設計段階の要望を反映しやすい架構

**スクエアペースのメリット**：矩形が求められるホール関連諸室に適した架構




**■立体的で緑豊かな散策庭園（小さな杜）を纏うコンティニュアス・スケープ（杜の都の継承）**
敷地全体に青葉地区の潜在自然植生を植栽し、建築のテラスを緑化した立体的な散策庭園を設けます。全方位を望む多様な視点場をもつ周辺緑地と連続した風景＝建築が杜の都を継承します。

**搬入口**：二つのホールにアクセスし易い計画。シャッター車路と区画

**楽屋口**：ホール関連全体で一つの楽屋口。階段、EV を近接させて集中管理。

**楽屋**：演者が移動し易いホール下手側にラウンジを囲むように配置

**楽器・ピアノ庫**：下手側に配置し、舞台への移動に配慮

**制作工房（美術）**：大ホール搬入口、下手袖舞台に面して配置。交流ロビーから表動線も確保

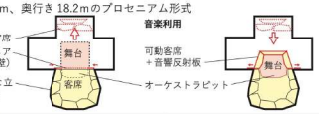
**■文化芸術・創造支援・活用エリアの特徴**
①プロユースの機能性、一般利用や見学など教育的効果・利便性に配慮。
②各室の固有名詞に捕らわれない多彩な活動を誘発する空間。

**練習室**：大・小ホール一階のオープンホワイエ（開園時は区画可能）に配置。外からも直接出入りでき、可動壁を開放した野外ライブや練習風景の見える化、用途に応じた仕様など様々なニーズに配慮

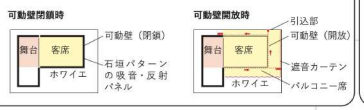
設計段階で青葉山公園との接続を協議

**■二つのホールの特徴**
①二つのホールは、演者と観客の一体感・臨場感を重視する。
②ホール性能だけでなく、みんなの記憶に残る新しい劇場空間をつくる。
③設計段階で専門家からの助言を反映しやすい二つのホールの分棟配置。
④外からホールに直接アクセスできる緑豊かなアプローチ。

**大ホールの可変客席**：可動プロセニアム、可動客席（エアキャスター式）を採用。音楽時は間口 23m、奥行き 16mのサラウンド形式とし、演劇時は間口 18.2m、奥行き 18.2mのプロセニアム形式

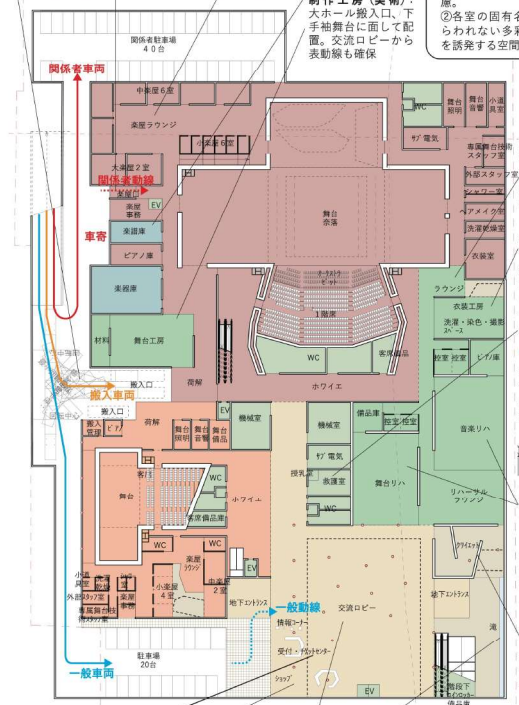



**小ホールの可変客席**：シューボックスタイプの固定客席。客席周りの可動壁を開放してホワイエを活用したバルコニー席に可変。




●面積表（㎡）

| | |
|---|---|
| B1F： | 12,144 |
| 1F： | 6,992 |
| 2F： | 4,111 |
| 3F： | 4,637 |
| 4F： | 2,475 |
| 合計： | 30,359 |
| 駐車場： | 3,117 |




**庭付ラウンジ**：演者のリフレッシュに配慮。

**制作工房（衣装）**：衣装関連諸室をまとめて、大ホール舞台上手側に配置。

**救護室、託児室**：地階交流ロビーに配置し、来館者の利便性に配慮。

**バス停からのアクセス**

**石垣**：建物内外で石垣を用いて、敷地の微地形を活かす



**音楽リハ・舞台芸術リハ**：演者の利便性に配慮し、楽屋・舞台と同一階に配置。専用ラウンジ経由で交流ロビーからの一般利用を考慮。

**クワイエットスペース**：3 段階の照度をもつ空間を用意し、個々のメンタルに配慮。

**みんなが繋がる交流広場**
地階の交流広場がホール関連の活動を繋ぎ、この場の活動を 1 階から眺めることができます。最上階までの吹き抜けが、施設全体をひとつながりの場とします。

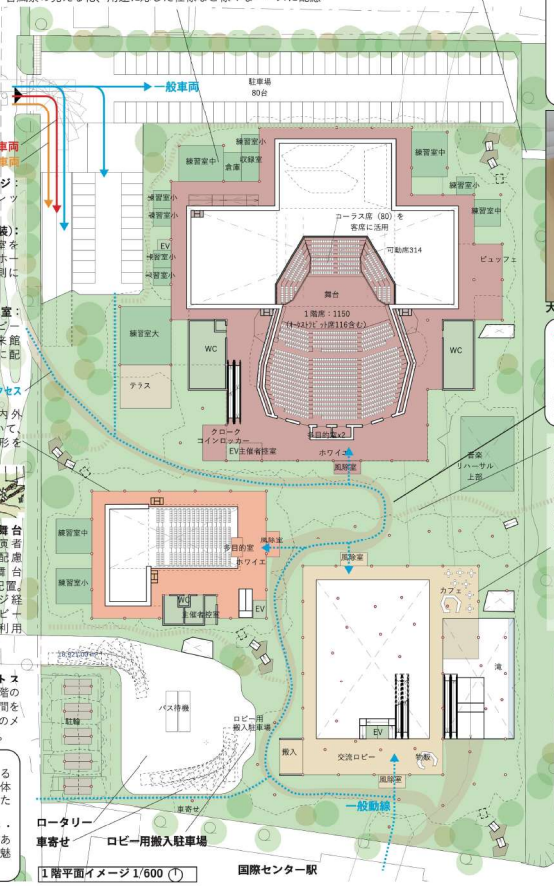
**情報コーナー**：常設と企画運用に配慮して上下階に配置。

**交流広場**：地階のメインフロアーと 1 階のエントランスフロアで構成した多目的な大空間。

**デジタルデトックスする湯布**

**■広場エリアの特徴**
①様々な交通手段・目的で訪れる人々がアクセスし易く、敷地全体が様々なアクティビティに満ちた場。
②この地域の資源「ヒト・コト・モノ」を最大化できる受け皿であり、ふらりと訪れた観光客にも魅力的な居場所。

地下1階平面イメージ 1/600




**ロータリー**

**車寄せ**

**ロビー用搬入駐車場**

**国際センター駅**

1階平面イメージ 1/600 ①


大ホールのイメージ

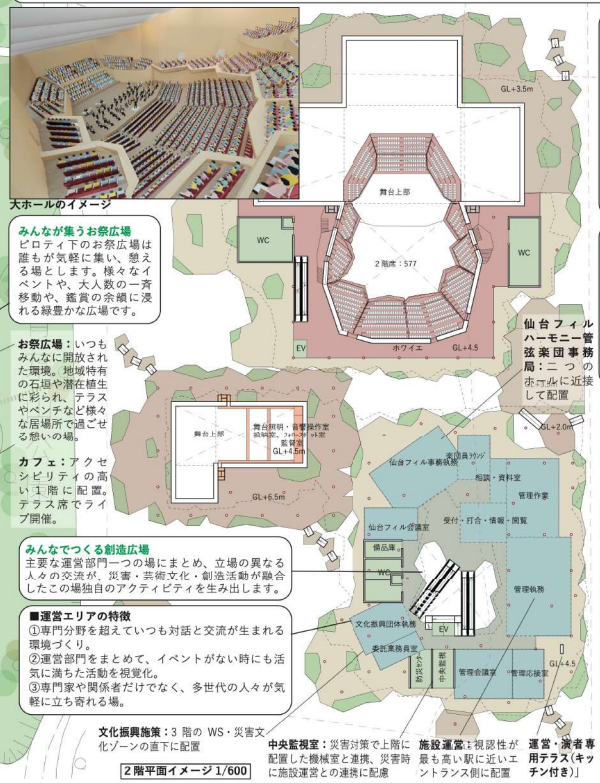
**みんなが集うお祭広場**
ピロティ下のお祭広場は誰もが気軽に集い、憩える場とします。様々なイベントや、大人数の一斉移動や、鑑賞の余韻に浸れる緑豊かな広場です。

**お祭広場**：いつもみんなに開放された環境。地域特有の石垣や潜在植生に彩られ、テラスやベンチなど様々な居場所で過ごせる憩いの場。

**カフェ**：アクセシビリティの高い 1 階に配置。テラス席でライブ開催。

**みんなでつくる創造広場**
主要な運営部門一つの場にまとめ、立場の異なる人々の交流が、災害・芸術文化・創造活動が融合したこの場独自のアクティビティを生み出します。

**■運営エリアの特徴**
①専門分野を超えていつも対話と交流が生まれる環境づくり。
②運営部門をまとめて、イベントがない時にも活気に満ちた活動を視覚化。
③専門家や関係者だけでなく、多世代の人々が気軽に立ち寄れる場。




**仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局**：二つのホールに近接して配置

**文化振興施策**：3 階の WS・災害文化ゾーンの直下に配置

**中央監視室**：災害対策で上階に配置した機械室と連携、災害時に施設運営との連携に配慮

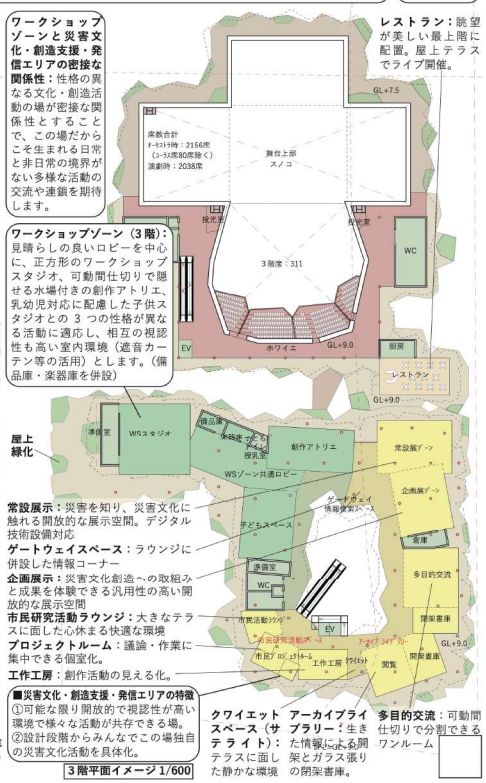
**施設運営**：視認性が最も高い駅に近いエントランス側に配置

**運営・演者専用テラス（キッチン付き）**

2階平面イメージ 1/600

**ワークショップゾーンと災害文化・創造支援・発信エリアの密接な関係性**：性格の異なる文化・創造活動の場が密接な関係性とすることで、この場だからこそ生まれる日常と非日常の境界がない多様な活動の交流や連鎖を期待します。

**ワークショップゾーン（3 階）**：見晴らしの良いロビーを中心に、正方形のワークショップスタジオ、可動間仕切りで隠せる水場付きの創作アトリエ、乳幼児対応に配慮した子供スタジオとの 3 つの性格が異なる活動に適応し、相互の視認性も高い室内環境（遮音カーテン等の活用）とします。（備品庫・楽器庫を併設）




**レストラン**：眺望が美しい最上階に配置。屋上テラスでライブ開催。

**常設展示**：災害を知り、災害文化に触れる開放的な展示空間。デジタル技術設備対応

**ゲートウェイスペース**：ラウンジに併設した情報コーナー

**企画展示**：災害文化創造～の取組みと成果を体験できる汎用性の高い開放的な展示空間

**市民研究活動ラウンジ**：大きなテラスに面した心休まる快適な環境

**プロジェクトルーム**：議論・作業に集中できる個室化。

**工作工房**：創作活動の見える化。

**■災害文化・創造支援・発信エリアの特徴**
①可能な限り開放的で視認性が高い環境で様々な活動が共存できる場。
②設計段階からみんなでこの場独自の災害文化活動を具体化。

**クワイエットスペース（サテライト）**：テラスに面した静かな環境

**アーカイブライブラリー**：生きた情報による開架とガラス張りの閉架書庫。

**多目的交流**：可動間仕切りで分割できるワンルーム

3階平面イメージ 1/600